OUKA
Osaka University Knowledge Archive

Title	阪大法学 61巻 総目次
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2012, 61(6)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/55224
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

阪大法学　第六一巻　総目次　（一～六号）

論　説

	号	頁	通頁
市民教育の政治学 ――アメリカ合衆国を中心として――……河田潤一	一	一	一
労働法とその周辺（四）……小嶌典明	一	二九	二九
法定解除権の正当化根拠と催告解除（一）……松井和彦	一	五五	五五
不当条項規制における規制対象の画定（一）……武田直大	一	一一一	一一一
大正九年台湾地方制度の成立過程（二・完） ――台湾総督府における地方制度改革事業を中心に――……謝　政徳	一	一五九	一五九
過失犯における危険の引受けの意義（一）……佐藤厚志	一	一八三	一八三
日本の統治機構の理念と運用 ――マクロ的分析再論――……岩波　薫	一	二一一	二一一
EU支払サービス指令とドイツ法 ――多様な支払手段の統一ルール創出の試みとその意義――……平田健治	二	一	二八七

法定解除権の正当化根拠と催告解除（二・完）……松井和彦　二　一一三　三九九
不当条項規制における規制対象の画定（二・完）……武田直大　二　一四一　四二七
過失犯における危険の引受けの意義（二・完）……佐藤厚志　二　一八五　四七一
代理権濫用における本人保護の法的構造（一）
――ドイツ法の展開を手がかりに――……溝渕将章　二　一九七　四八三
日本の擬似外国会社規制は正当化されるか
――通商航海条約における「事業活動の自由」と
ＥＵ運営条約における「開業の自由」を比較して――……小野木　尚　二　二二五　五一一
判例にみる詐害的会社分割と債権者・労働者の保護
――事業継承をめぐる解釈論の限界――……山下眞弘　三・四　五　六一七
産業地域事業団（ＩＡＦ）のプログレッシブ・ポリティックス
――アメリカにおける草の根民主主義の実践に向けて――……河田潤一　三・四　三七　六四九
株主提案の不当拒絶と株主総会決議の効力……吉本健一　三・四　五九　六七一
高年齢者雇用安定法の改正とその問題点
――希望者全員ルールへの疑問――……小嶌典明　三・四　七三　六八五
東清鉄道の敷設と露清国境
――ドゥホフスコイ総督のロシア極東観を中心に――……竹中　浩　三・四　九五　七〇七

第三者与信型割賦販売契約の解消と清算方法
——割販法改正による清算規定の位置づけ——……平田健治　三・四　一一七　七二九
人身傷害補償保険に関する一考察……山下典孝　三・四　一三九　七五一
ユニドロワ国際商事契約原則における契約解除要件……松井和彦　三・四　一五五　七六七
新株予約権発行の瑕疵とその連鎖……久保田安彦　三・四　一八七　七九九
不正融資に対する刑事責任……品田智史　三・四　二三一　八四三
列挙されていない権利の保障の新たな展開
——Randy Barnett の自由の推定理論
（presumption of liberty）とその意義——……中曽久雄　三・四　二五七　八六九
核兵器不使用の論理と課題……黒澤　満　三・四　二八五　八九七
支配株主の権利濫用の抑制について……村治規行　三・四　三一一　九二三
株式会社における監査権限強化に関する一考察
——日本法が今後の中国法改正に与える示唆——……金　錫華　三・四　三三一　九四三
韓国における会社法改正の主要内容と今後の課題
——コーポレート・ガバナンスの改善を中心に——……李　孝慶　三・四　三五九　九七一
中国における株主総会に関する制度の整備と問題点……張　凝　三・四　三八七　九九九
労働法とその周辺（五）……小嶌典明　五　一　一〇三三

刑事訴訟法三一二条一項について（二）
——脱「審判対象論」の試み——……松田岳士　五　二五　一〇五七
キーワード検索における商標の保護とＩＳＰの責任
——中国の裁判例を素材として——……陳　思勤　五　四七　一〇七九
共同著作者の著作者人格権行使に関する考察……村上画里　五　八九　一一二一
地方財政調整制度構想出現の前史的考察（一）
——内務官僚の動向を中心に——……矢切　努　五　一一一　一一四三
代理権濫用における本人保護の法的構造（二）
——ドイツ法の展開を手がかりに——……溝渕将章　五　一三一　一一六三
「承継的責任無能力」と実行行為の個数について（一）
——責任段階における「一連の行為」をめぐる考察——……小野晃正　五　一五三　一一八五
「地球上絶無稀有ノ国体」を護持するために
——岩倉具視の構想——……米原　謙　六　一　一二六五
労働法とその周辺（六）……小嶌典明　六　五五　一三一九
背任罪における財産上の損害要件について（一）……品田智史　六　七九　一三四三
地方財政調整制度構想出現の前史的考察（二・完）
——内務官僚の動向を中心に——……矢切　努　六　一一一　一三七五

欧州人権裁判所における性的マイノリティ事例の現状と課題
——同性愛者の家族関係の維持・形成の問題を中心に——……則武立樹　六　一三七　一四〇一
代理権濫用における本人保護の法的構造（三・完）
——ドイツ法の展開を手がかりに——……溝渕将章　六　一六七　一四三一

研究ノート

憲法解釈の応用局面（一）……棟居快行　一　二三九　二三九
憲法解釈の応用局面（二）……棟居快行　二　二五三　五三九
憲法解釈の応用局面（三）……棟居快行　五　一七一　一二〇三
憲法解釈の応用局面（四）……棟居快行　六　一八七　一四五一

判例研究

労働者災害補償における外ぼうの醜状障害に関する
男女間格差と憲法一四条
——京都地方裁判所平成二二年五月二七日
（判例タイムズ一三三一号一〇七頁）……中曽久雄　一　二六九　二六九
国際司法裁判所　ウルグアイ河パルプ工場事件
（判決　二〇一〇年四月二〇日）……鳥谷部　壌　二　二九七　五八三

署名者に対する個別訪問調査と請願権・表現の自由、プライバシー
——岐阜地裁平成二二年一一月一〇日
判例時報二一〇〇号一一九頁——……中曽久雄　五　二一三　一二四五

その他

巻頭の辞……中尾敏充　三・四　一　六一三
末永敏和教授略歴・主要著作目録……　三・四　四〇九　一〇二一